

CONTENTS

AIR CONDITIONING

- 03 エアコン
- 04 ガス・石油ファンヒーター
- 05 電気カーペット
- 05 電気こたつ

LIGHTING

- 06 照明器具

ENTERTAINMENT

- 07 テレビ
- 08 パソコン

KITCHEN

- 09 電気冷蔵庫
- 10 ガス給湯器
- 11 電子レンジ
- 12 電気ポット
- 13 ガスコンロ
- 13 食器洗い乾燥機

BATH&TOILET

- 14 風呂給湯器
- 14 温水洗浄便座

CLEANING

- 15 洗濯機
- 15 掃除機

CAR

- 16 自動車

- 12 食の省エネコラム★食生活でひと工夫
インフォメーション
- 17 ・家庭でいちばん電気を消費するのは?
- 18 ・待機時消費電力を減らしましょう。
- 19 ・かしこい機器選びのポイントは?
- 21 ・ライフスタイルチェック25

地球温暖化が深刻化しています。ライフスタイルを見直し、日頃から省エネを。

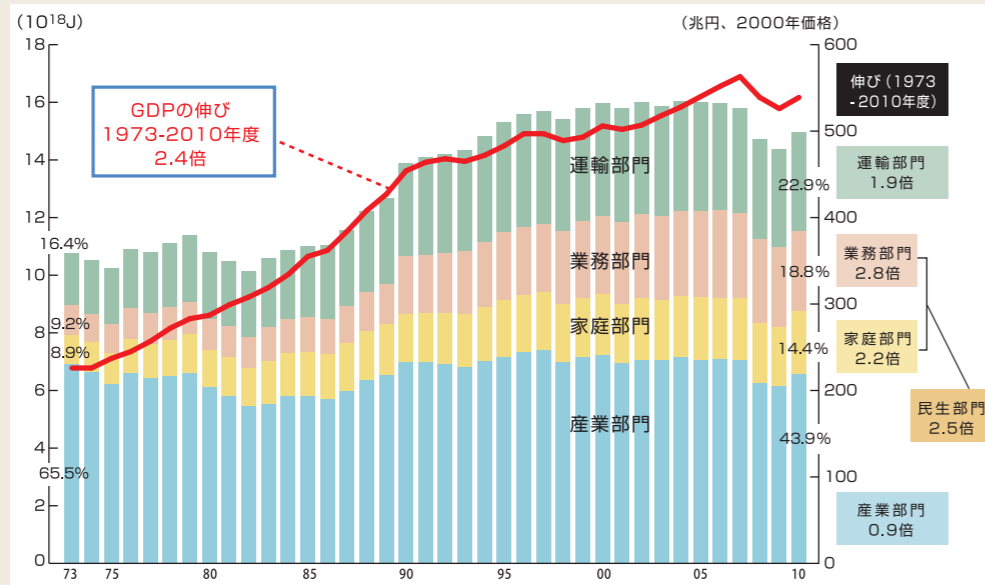
省エネのポイントと効果が一目瞭然。日々の生活に役立ちます。

「家庭の省エネ大事典」は、家庭で簡単にできる省エネのためのガイドブックです。エネルギーを効率的に使って、かしくシンプルで省エネ型ライフスタイルを心がけましょう。



エネルギーの消費量が増えています。

日本のエネルギー消費は、70年代に起きた二度の石油危機でいったんは改善されました。しかし80年代後半になると、再び伸びを示します。なかでも増加が大きいのが家庭やオフィスなどの民生部門と運輸部門。それには、わたしたちのライフスタイルの変化が大きな影響を与えています。



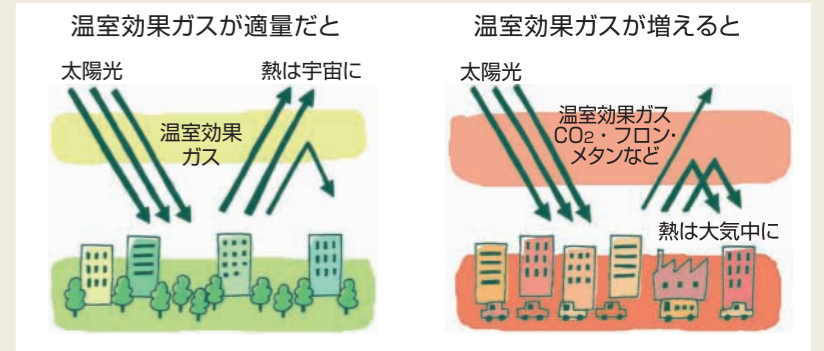
資料：資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」、内閣府「国民経済計算年報」、(財)日本エネルギー経済研究所「エネルギー経済統計要覧」
 (注) 1. J (ジュール) = エネルギーの大きさを示す指標の一つで、1MJ=0.0258×10⁻³ 原油換算k1
 2. 「総合エネルギー統計」は、1990年度以降の数値について算出方法が変更されている。
 3. エネルギー消費量の2010年は速報値

電気製品や自家用車が増え、大量のエネルギーを消費。

エアコン・テレビなどの電気製品の保有台数が増えています。また、鉄道・バスなどよりもエネルギー消費の大きい自家用車の利用が増えています。電気製品や自家用車は便利な生活を実現してくれる反面、その増加はエネルギーを大量に消費し、地球温暖化などの環境破壊にもつながります。

地球温暖化を進めているのはおもにCO₂です。

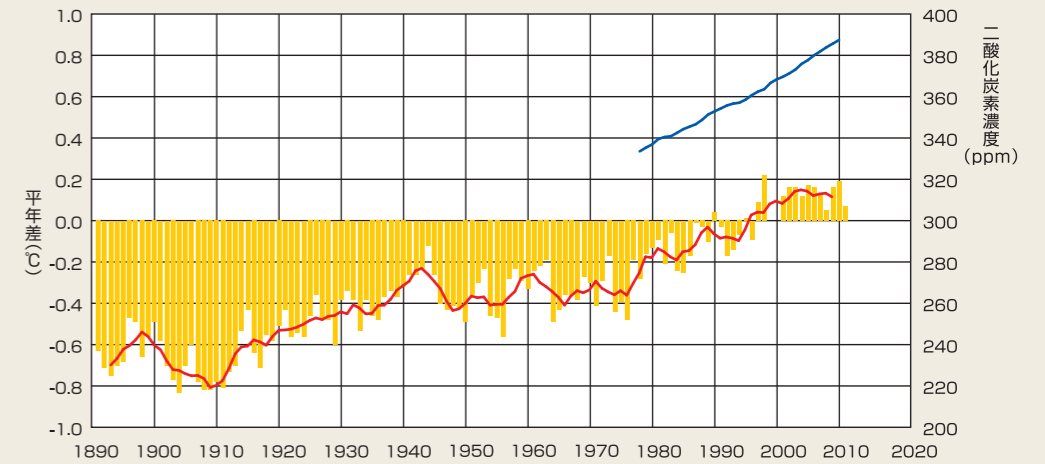
エネルギーの大半は石油や石炭などの化石燃料を燃焼することによって得られていますが、これに伴って、大気中にCO₂(二酸化炭素)が排出されます。エネルギーの大量消費でこのCO₂濃度が上昇し、地球が宇宙に放出するはずの熱が大気中に封じ込められる温室効果が進み、地球が温暖化しています。



世界の年平均気温年差と二酸化炭素濃度の経年変化

■ 世界の年平均気温年差*
 ■ 5年移動平均
 ■ 二酸化炭素濃度 (ハワイ・マウナロア気象観測所)

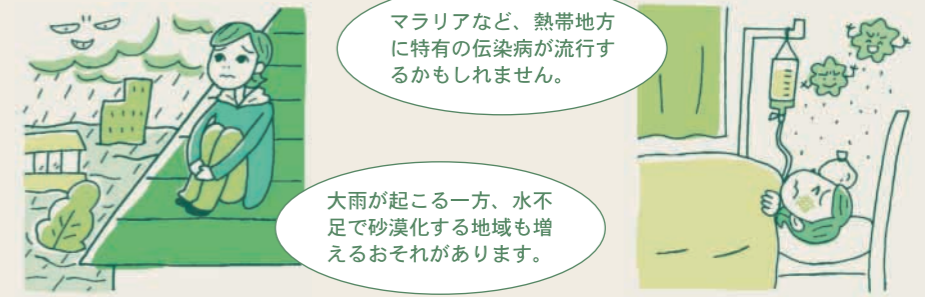
* 年差:30年間(1981年-2010年)の平均値との差



資料：気象庁(世界の年平均気温偏差(°C))
http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/temp/list/an_wld.html
 温室効果ガス世界資料センター(WDCGG)
http://ds.data.jma.go.jp/gmd/wdogg/jp/wdogg_j.html

私たちの生活にも重大な影響を及ぼす可能性があります。

このまま地球温暖化が進むと、大雨が増加したり、熱帯性の伝染病が広がるなど、環境に重大な悪影響を及ぼす心配があります。



一人ひとりの省エネが支える、大きな効果。

このままでは大変！深刻な地球温暖化にストップをかけるためには、一人ひとりが問題意識を持ち、省エネを実行することが大切です。一人では省エネ効果が少ないように思えますが、全世界で省エネすれば、大きな成果が得られます。

3つの省エネでこんなに効果が！

- ◎夏の冷房設定温度を27℃→28℃に
- ◎冬の暖房設定温度を21℃→20℃に
- ◎冷暖房の運転時間を1日1時間ずつ短縮

たとえば、エアコンの省エネでは…

消費電力 約200億kWhの削減

原油換算でドラム缶(200L)約2,515万本 = 東京ドーム4杯分

CO₂削減量 約699万トン 杉の木の吸収量にすると約4.99億本分

算定根拠 ○全世界数:5,378万世帯(出典:住居基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数(平成23年3月31日現在)) ○エアコン普及率:259.9%(出典:消費動向調査(全国、月次)、平成23年3月実施調査結果) ○杉の木換算(年間吸収量):平均数14kg/本(「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境省/林野庁) ○CO₂排出量換算係数:電気0.350kg/kWh(出典:電気事業における環境行動計画2011 電気事業連合会)

*「家庭の省エネ大事典」のデータは、省エネルギーセンターの実測値を使用しています。居住地域・住宅などにより異なります。